

# 次世代を担う循環器・救急集中治療のスペシャリストを育成

## 愛知医科大学病院 救命救急科

当院は愛知県長久手市に位置する大学附属の高度急性期医療機関です。大学病院としての先進的な医療機能を持ちながら、地域の救急搬送の中心的役割も担っており、長久手市内のみならず広域から多数の重症患者を受け入れています。ドクターヘリやドクターカーによるプレホスピタルケア体制が整っており、遠方からの重症患者の転院搬送にも積極的に対応しています。

当センターは1996年に、愛知県で初めて、全国で8番目の「高度救命救急センター」として認可を受け、20年以上にわたるドクターヘリ運用の実績を持つ施設です。「Academic Critical Care(学際的集中治療)」を理念に、臨床・教育・研究の三位一体で救急医療の質向上に取り組んでいます。

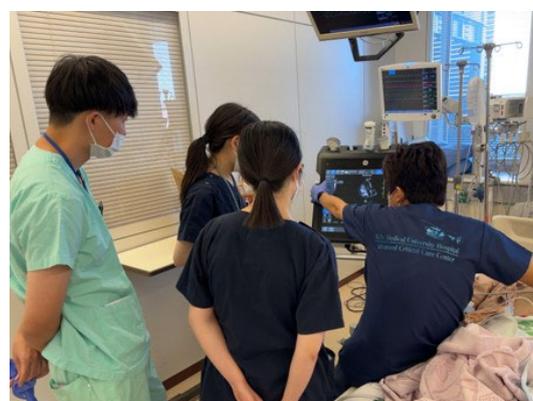


### **最先端の救急医療体制**

2023年10月から「ハイブリッドER」を稼働しています。これは救急蘇生室・CT・アンギオ・手術室機能を一体化した最新の診療スペースで、重症患者への初期対応から治療までを迅速かつ効率的に行うことが可能です。

また、現場での初期治療を実現するドクターヘリ・ドクターカーを有しており、プレホスピタルからICU・病棟管理、退院までの一貫した治療を行っています。

対象とする疾患は多岐にわたり、循環器疾患以外にも呼吸不全、脳卒中、重症感染症といった内因性疾患から、多発外傷、熱傷、急性中毒などの外因性疾患まで幅広く対応しています。とくに最重症患者では、各診療科との連携による専門的な初期治療・集中治療を実施しています。



## 高度な循環器集中治療管理体制

当院のICUは、集中治療科専門医が主導する「closed ICU」として運用されており、毎朝の合同カンファレンスで循環器内科と治療方針を協議しながら、高度かつ一貫性のある集中治療を実現しています。EICU（救急ICU）に併設されているCCU（Cardiovascular Care Unit）では、急性心筋梗塞、心不全、心筋炎、肺塞栓症などの心原性ショックを呈する重症患者への対応を行っており、IMPELLA（補助循環器用ポンプカテーテル）やPCPS（経皮的心肺補助装置）といった補助循環装置を用いた循環管理にも力を入れています。2023年からは、ハイブリッドERを活用したECPR（体外循環式心肺蘇生法）も積極的に施行し、迅速な対応に向けた日常的なシミュレーショントレーニングも実施しています。

さらに、新型コロナウイルス感染症の流行以降は、VV-ECMO（静脈-静脈型体外式膜型人工肺）による重症呼吸不全管理にも注力し、地域の重症患者受け入れ機能を強化してきました。疾患の多様性により今後は循環器集中治療医においても呼吸器ECMOのスキルが求められることが予測されます。



## 循環器集中治療医(cardiac intensivist)の育成とキャリア支援

当センターでは、循環器内科専門医と集中治療科専門医の両資格を有する「Cardiac Intensivist」の育成を目指しています。

救命救急科と循環器内科の緊密な連携により、どちらの専門医資格を先に取得しても柔軟に研修計画を立てられる体制を整えており、各医師の志向に沿ったキャリア形成が可能です。重症循環器疾患に必要な全身管理として人工呼吸器、血液浄化療法、栄養管理、神経集中治療、鎮痛・鎮静などについても、当科に属する各領域の専門医から最新のエビデンスを学ぶことが可能であり、循環器疾患に限らない重症管理能力を身につけられる環境が整っています。

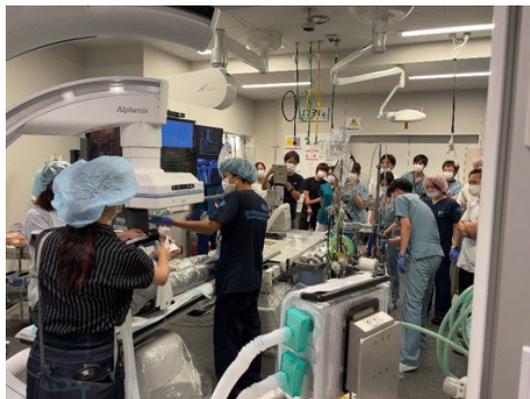
また、専属外科医からは、気管切開や胸腔ドレナージなど基本的な外科処置についても体系的に学ぶことが可能です。

## 当院の循環器集中治療における専門知識の統合



## チーム医療と教育体制の強化

毎朝の多職種との連携による合同カンファレンスやベッドサイドラウンドを重視しており、チーム全体での診療の質向上を図っています。また、RRS(院内急変対応チーム)への関与を通じて、循環器疾患以外の救急疾患に対する標準的な初期対応も経験することもできます。さらに、ドクターヘリやドクターカーによる現場出動にも参加可能で、病院前救急から集中治療まで一貫して携われる実践的な経験を積むことができます。また、教育面では定期的なICU・CCU勉強会やECPRシミュレーション教育などを通じ、若手医師の教育体制も充実しています。



## 循環器集中治療医を目指す医師へ

当科では、次世代を担う救急・集中治療のスペシャリストを育成すると共に、サブスペシャリティ専門研修も重視しております。循環器内科専門医と集中治療科専門医の両資格を有する cardiac intensivist の育成に力を入れ、循環器内科と救命救急科が連携した柔軟な研修プログラムを実現します。救急と集中治療が好きな循環器医、循環器が好きな救急集中治療医を目指したい方にとって適した環境ですので、興味のある方はご連絡お待ちしております。

## 連絡先

愛知医科大学病院 救命救急科

担当 田邊 すばる

E-mail: [tanabe.subaru.620@mail.aichi-med-u.ac.jp](mailto:tanabe.subaru.620@mail.aichi-med-u.ac.jp)

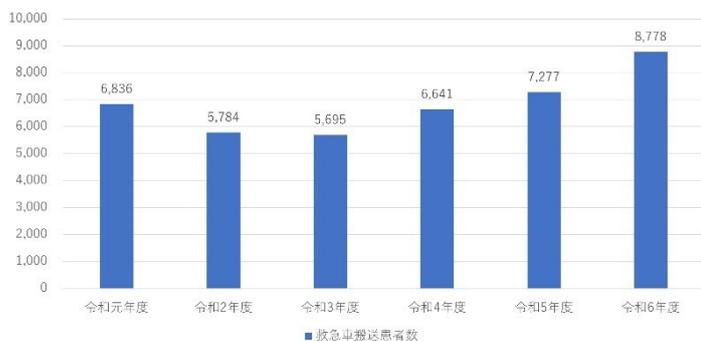
〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1

TEL 0561-62-3311 (代表)

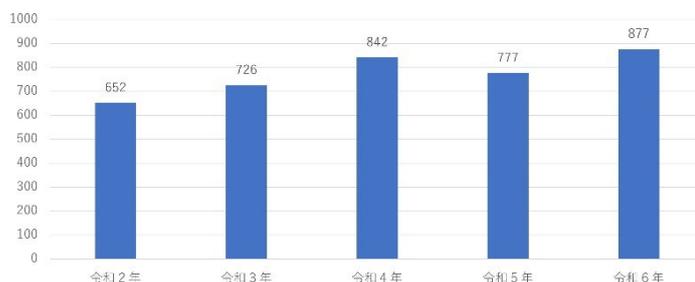
内線:35371 救命救急科医局

当科ホームページ:<https://aichi-med-u.com/>

救急車搬送患者数

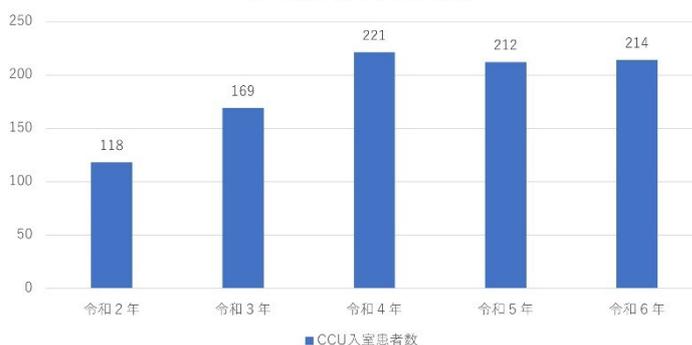


EICU・CCU入室患者数



EICU・CCU入室患者数(循環器疾患のみ)

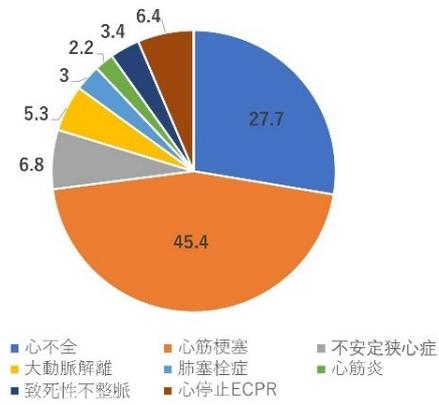
循環器疾患入室患者数



重症循環器疾患内訳と機械的補助循環装置

循環器疾患内訳(%)

N = 214 (令和6年)



補助循環装置 (数)

N = 57 (令和6年)

